

一 般 質 問 通 告 表

平成27年第2回始良市議会定例会（6月22日（月） 午前9時00分開会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 竹下日出志	1. 空き家対策について	<p>防災や衛生面などで地域に深刻な影響をおよぼす空き家問題の解消に向け、空き家対策特別措置法が5月26日、全面施行された。特措法は、市町村が固定資産税の納税情報を活用し、所有者を把握しやすくしたほか、倒壊の危険などがある「特定空き家」への立入り調査や、所有者に対して撤去、修繕を促す指導、勧告、命令ができるようにした。</p> <p>(1) 現在、400を超える自治体が空き家の解体や適正管理を進める条例を制定している。本市でも条例を制定する考えはないか。</p> <p>(2) 空き家の所有者の中には、遠隔地に住んでいるなど、さまざまな事情で空き家の維持・管理や処分、利活用の方法に悩む人もいる。空き家を減らすためにも、こうした人たちの相談や周辺住民の苦情に応じる体制を整備することも必要である。本市では相談体制をどのように考えているか。</p>	市 長
	2. 悪質電話被害の防止対策について	<p>急増する詐欺電話から高齢者を守る「悪質電話被害防止事業」が、全国各地で行われている。</p> <p>東京都では、依然として深刻化する振り込め詐欺など特殊詐欺被害の現状を踏まえ、警告メッセージと録音機能により被害を未然に防ぐことができる「自動通話録音機」の無償貸出しを開始している。</p> <p>自動通話録音機の特長は、電話機の</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 住民のニーズに合った新しい交通手段予約型乗合タクシーの導入について</p>	<p>呼出音が鳴る前に、「この電話は、振り込め詐欺などの犯罪防止のため、会話内容が自動録音されます。これから呼び出しますので、このままでお待ちください。」</p> <p>との警告メッセージを流した上で、通話内容を録音する。犯人に通話を断念させ、被害を未然に防止する効果が期待できる。</p> <p>本市でも、詐欺電話から高齢者を守るため、自動通話録音機の無償貸出しを実施する考えはないか。</p> <p>(1) 予約型乗合タクシーとは、予約があったときに、予約があった区間だけを運行し、複数の利用者が乗合で利用するタクシーである。利用者の玄関から目的地の玄関まで送迎する。</p> <p>福岡県八女市では、自動車を運転しない高齢者等の交通弱者に対して、買物、通院、公共施設・金融機関などの目的地へ予約型乗合タクシーを運行している。本市でも、交通弱者対策として予約型乗合タクシーを導入する考えはないか。</p> <p>(2) 福岡県朝倉市では、運転に不安のある高齢者の方が運転免許証を返納しやすい支援事業を実施し、高齢者の方の交通事故の減少と公共交通の利用促進を実施している。本市でも、運転免許証を自主返納される高齢者の支援策として、予約型乗合タクシーを実施する考えはないか。</p> <p>(3) 民間のタクシー会社では、妊婦さんの陣痛がはじまり、ご家族が不在で不安なときやお子さんの急な発</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>熱時などのお母さんの悩みを解消するため、妊娠中や子育て中のお母さんを応援するママサポートタクシーを実施している。本市でも、子育て支援対策として、ママサポートタクシーを支援する考えはないか。</p>	
<p>2. 渡邊 理慧</p>	<p>1. 空き家対策について</p> <p>2. 脇元の重富漁港付近に放置された猫</p>	<p>近年の急速な少子・高齢化や経済情勢の悪化などにより、適正な維持管理ができず長期間放置されている空き家の問題は、防災や防犯、景観など近隣住民に悪影響を及ぼし、全国でも大きな問題となっている。</p> <p>(1) 本市では昨年からは空き家バンク制度や、空き家リフォーム事業補助金制度を実施しているが、充実した制度になっているか。</p> <p>また、今後の空き家解消の見通しはどのように考えているか。</p> <p>(2) 老朽化による倒壊や、ゴミの投棄、放火の恐れがある空き家の対策を進める、「空き家対策に関する特別措置法」が平成27年5月26日に全面施行された。周辺住民や有識者らの客観的な意見を聞く協議会設置はどのように考えているか。</p> <p>(3) 高知県梶原町では空き家を家主から10年契約で無償で借り受け、台所、トイレの改修や耐震補強などを行い、共益費込み月額18,500円で移住者らに貸し出すという取組みを行っている。本市でもこのような取組みを考えてはどうか。</p> <p>重富漁港付近への猫の放置が後を絶たず、10匹以上に増えている。以前</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>の対策について</p> <p>3. 小中学校のクーラー設置について</p>	<p>は海岸のほうに放置されていたようだが、現在は岩崎用地の雑草も生い茂り、民家付近に放置され、衛生上の問題など近隣住民に迷惑がかかっている。</p> <p>雑草除去の指示や、放置された猫の捕獲、広報誌などに捨て猫のないよう市民へ啓発をすべきと思うがどうか。</p> <p>先日、口永良部島の大噴火があり、全島民が屋久島へ避難する事態となった。桜島も今年はずでに 1,000 回以上の噴火を繰り返している。6月から10月頃までの鹿児島暑さと桜島の降灰により窓を開けることも困難になり、子どもたちの集中力低下につながる。小中学校は避難所にもなっていることから、災害対策も含めクーラー設置は急ぐべきだと思う。その後の経過はどうなっているか。現在の3分の1補助でも設置する必要があるのではないか。</p>	教育委員長
3. 湯元 秀誠	1. 市の財政について	<p>市制5周年を終え活力ある始良市を目指し、さまざまな取組みがなされ、始良市は将来の展望が明るいと感じておられる市民の方が多い。</p> <p>しかし、次々に進められる大型予算を伴う事業予算に将来の負担を心配する方々の声もある。</p> <p>小学校、消防庁舎、斎場建設の3セットのほか給食室別棟、温泉センターなどが進行、完成に至り、今は市役所本庁舎の建設が話題にされている。公債費率が伸びると予想される今後、市の財政は本当に大丈夫かと懸念する。</p> <p>(1) 26年度の一般会計決算の総括、</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 鳥獣害対策の強化について</p>	<p>審査はまだであるが、以下の計画と見込みは前年度と比較してどうなるか。</p> <p>①経常収支比率 ②財政力指数 ③実質公債費比率 ④将来負担比率 ⑤財政調整積立金及び市債残高</p> <p>(2) 今後も財政の健全度は市民の皆様に安心を得ると判断されるか。 (3) 今後大きな予算を伴うとされる計画と、その財源計画を具体的に示せ。 (4) 突発的な有事の事案に即応すべき基金の積み立ての最小限見込みはどれくらいか。 (5) 執行された建設事業の検証をすべきである。</p> <p>他の自治体の類似施設は、安価な建設に努力されている。始良市では概略計画、設計など外部委託にあまりにも頼りすぎではないかと感じる。有能な市職員の働きを生かし、規模が膨らみすぎ、過度な計画にしないためにも最小の予算で効果を高める必要があるが、考えを問う。</p> <p>中山間地域のみならず、最近のサルは平地の人家まで出没し、菜園の野菜や果実を真昼の時間帯でも平然と荒らし回っている。イノシシは田畑の土手法面に生えるクズ（カンネ）やユリの球根を物色し、畔や溝を形もなく荒らす。アナグマはミミズやカニを探し求めて田畑の畔、土手を容赦なく壊していく。シカは田植えした青苗や稲穂を餌にする。このような獣は、人間の食</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>い物は栄養価が高いと学習することで人間社会に適応し進化してくる。このような被害は住民の作物への生産意欲に失意と絶望を与え、また、中山間地域に暮らす人々に不安を抱かせ、恐怖まで与えている。</p> <p>この問題は、全国の中山間地域にあって共通した深刻な悩みであり、さまざまな取組みがなされている。</p> <p>(1) 以前の質問のサル被害で、電波を発する装置導入でシイタケなどの未然防止を提案した。その効果はどうであったか。</p> <p>(2) シカの行動範囲も広域化し、シカと遭遇する回数も増している。山林におけるシカの生息密度の低減策として開発されたドロップネットの導入を検討できないか問う。</p> <p>(3) 現在、市所有の箱わなは何基あり、何名の有資格者に貸出ししているか。また今後箱わなを増やす計画、わな猟、猟銃免許取得の推進を図るための補助事業などは図れないか。</p> <p>(4) 市単独で駆除隊の設置、もしくは対策の専門員を置くことは出来ないか。</p> <p>(5) 猟友会は市内に何団体あるか。旧町ごとに現在も運営されているのか。</p> <p>猟友会ごとの駆除の区域があり、旧町の越境はできないと聞くが行政の規則などで制限されているのか。</p> <p>(6) 鳥獣害対策は広域的な取組みでないと効果も発揮されない。猟友会の果たしている役割は奉仕的貢献度も大きくが大切な存在である。</p> <p>合併して5年経過し、他の団体と同様に組織の統一化も視野に入れ、</p>	

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>被害の重点区域、一斉駆除の設定など総動員した駆除のあり方や、駆除の対価として猟友会への助成の見直しの検討は考えないか問う。</p>	
4. 小山田邦弘	1. ダブルケア（子育てと介護の同時進行）について	<p>(1) 少子化と高齢化が同時進行する中で、晩婚化と出産年齢の高齢化が進むことにより、子育てと親の介護を同時にしなければならない世帯（ダブルケア世帯）が増加するという予測もあるが、本市ではこのような予測をどのように捉えるか。</p> <p>(2) 現時点において始良市内で、子育てと親の介護を同時にしなければならないダブルケアの状態にある世帯あるいは個人の実情（世帯数や人数、増加傾向など）や、実態（暮らしの様子など）は把握できているか。</p> <p>(3) 現時点において始良市として、ダブルケアの状態にある世帯や個人に対して、具体的な支援策はあるのか。また、今後検討されている支援策の方向性や具体策があるのか。</p>	市 長
5. 神村 次郎	1. 国民健康保険事業の運営について	<p>医療保険制度改革関連法が5月27日成立し、国民健康保険事業の市町村から都道府県への運営移行が決まった。</p> <p>国保会計は、年金暮らしの高齢者や非正規労働者が増え加入者の7割を占めると言われる。多くの国保・保険者が赤字財政に苦しむなか大改革がすすめられようとしている。</p> <p>超高齢社会のなかで「受診控え」を懸念する声も上がっている。</p> <p>(1) 本市の平成25年の特定健診データから、2人に1人は糖尿病の発</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>症リスクがあるとの結果が出ている。現在、保健指導等の状況はどうなっているか。</p> <p>また、対応の強化が求められるが、課題は何か。</p> <p>(2) 特定保健指導の実施率は、21年度から34.1パーセント、22年度17.2パーセント、23年度26.2パーセント、24年度19.5パーセント、25年度20.6パーセントと年度でばらつきがあるが、理由は何か。</p> <p>(3) 収納率向上にむけ担当課を中心に、全庁をあげての取組みは評価するところだが、県内市町村比では収納率は中位以下にある。県内他市町村と収納率向上の対策で取り組みの違いは何か。本市での課題は何か。</p> <p>(4) 今後も医療技術の高度化や被保険者の高齢化に伴い、医療費の増加傾向は続くと予測され、これに団塊世代の疾病リスクも高くなることで医療費の増加率は高くなる懸念されている。</p> <p>そこで、市民、市、医療関係者、事業者、自治会等と役割・責務を明らかにし、社会全体で健康づくりに取り組む「健康づくり推進条例」を制定し市の財政負担の軽減を図れないか。</p> <p>(5) 住民参加型スポーツイベント・チャレンジデー2015が5月27日実施され全国130か所の自治体で2,771,720人が参加した。スポーツの習慣化や、住民の健康づくり、地域の活性化を目的に15分以上ラジオ体操やウォーキング等何らかのスポーツをした住民参加率</p>	

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>を競うものである。</p> <p>本市でも健康維持・増進の面から取り組んでみてはどうか。</p> <p>(6) 今回の改革で保険診療と自由診療を併用する「患者申し出療養」が創設されたが、自費診療部分の費用を負担できる人には良いが低所得者には不利にならないか。</p> <p>(7) 事業が県に移管して保険料は市町村毎に違うことになるのか。納付率の向上や、医療費抑制に努めれば保険料を下げる仕組みとすること等、成果主義が導入されるのか。このことは、「受診控え」が進み制度改革には繋がらない。社会保障としての機能を失うことにならないか。見解を問う。政府に再考を要請する考えはないか。</p> <p>(8) 事業への国庫負担は上乘せされるのか。(現在国32パーセント、県9パーセント)現状のままであるとすれば国の負担割り増額を要請すべきではないか。</p> <p>(9) 30年度から、県に運営を移管し規模を大きくして財政基盤を安定させることが最大の目的だが、移管のメリット、デメリットを問う。</p> <p>(10) 本市の事業について財政面で、先の3月議会で「28年度以降の財政計画については、27年度中に被保険者の負担のありかたや一般会計の法定外繰入のありかたを含め検討が必要」と応えている。</p> <p>保険料の負担も現在が限界と考えるが、保険者としてどのように考えているか。又、国保運営審議会だけの議論では不足するのではないか。もっと幅広く意見を聞く機会をつく</p>	

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 業務委託契約について	<p>れないか問う。</p> <p>著しい低価格の入札の防止、現場で働く労働者の労働意欲を高め、受注者の経営の安定、安全で良質な事業の確保のためこれまでも発注者として努力をされているところであるが、業務委託に最低制限価格を導入できないか問う。</p>	市 長